ディプロマ・ポリシー

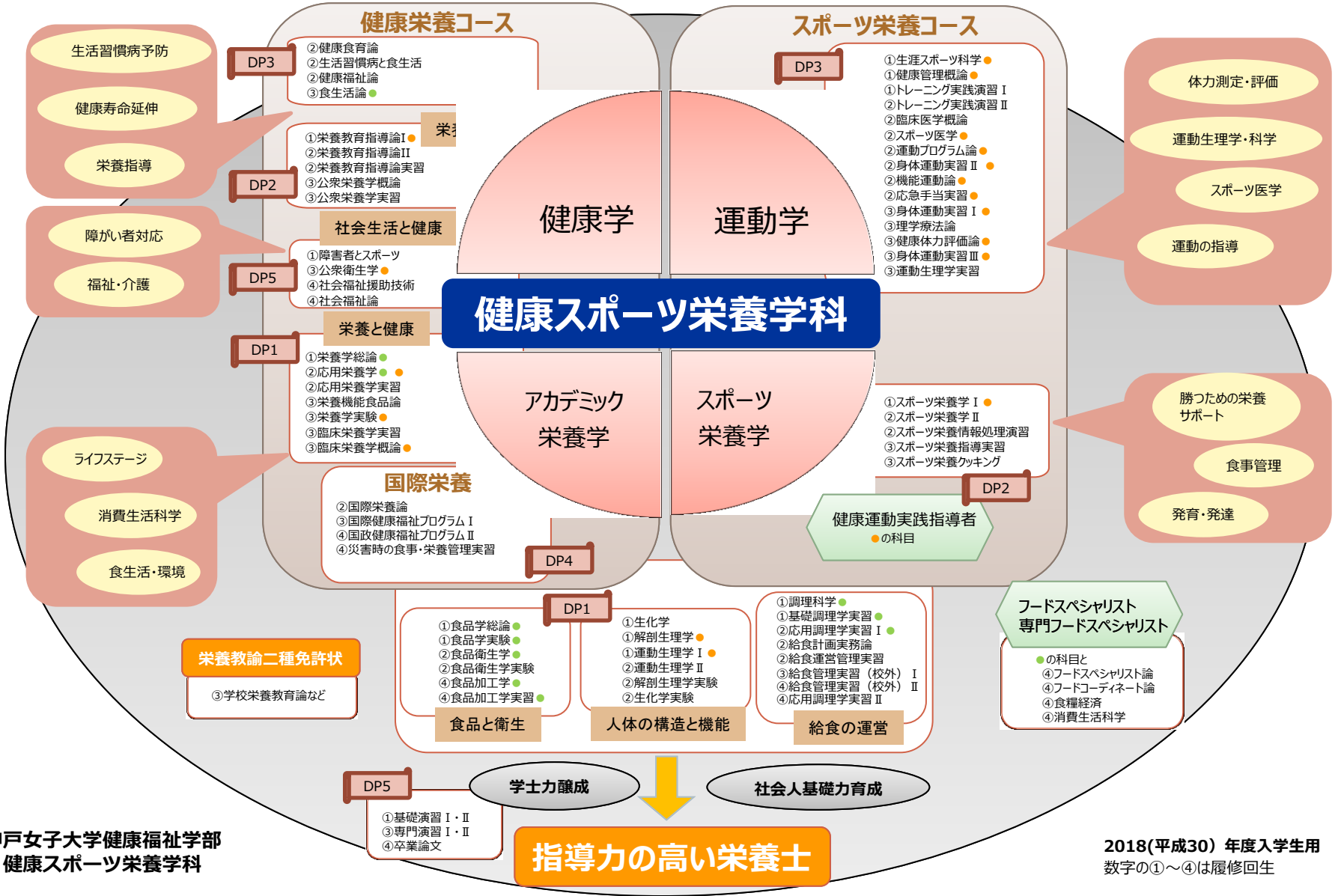
1.健康やスポーツに必要な食と栄養、並びに運動に関する基礎的・専門的知識と技術を修得し、創造性豊かに展開する能力を有している。（DP1）
2.栄養学やスポーツ科学を中心とした学問領域において的確な思考や判断ができ、適切な栄養指導や運動指導が実践できる。（DP2）
3.栄養と運動の関わりに深い関心を持ち、地域や国際社会における健康づくりや食育、スポーツの発展に寄与・貢献する強い意欲を持っている。（DP3）
4.世界の食文化や栄養学に精通し、健康の維持・増進や疾病予防のための望ましいライフスタイルを提案し、栄養学を中心とした健康教育を推進する社会のリーダーとして幅広いフィールドで活躍できる技能を有している。（DP4）
5.高等教育を経て、社会人としての基本的な思考力、問題解決能力、コミュニケーション力等を身につけ、社会の発展と福祉に寄与する真摯な態度を有している。（DP5）

カリキュラム・ポリシー

健康スポーツ栄養学科の教育課程は、Ⅰ）健康増進や疾病・障害予防、スポーツ現場における栄養・運動実践についての教育課程、Ⅱ）教育機関や福祉施設等における給食管理についての教育課程、Ⅲ）食行動変容を目指した栄養教育および食環境の変化に迅速に対応できる栄養の専門家養成についての教育課程、の3つで構成される。
1.健康栄養コース
栄養士免許取得のための「栄養士資格に関する科目（栄養士養成指定科目）」をベースに、食を幅広く捉える「ライフサイエンス関連科目」、健康と福祉の関連を理解し国際的な健康を考える「健康・福祉関連科目」、および食のスペシャリストを目指す「資格関連科目」を中心に履修する。
2.スポーツ栄養コース
「栄養士資格に関する科目（栄養士養成指定科目）」をベースに、スポーツ栄養に関わる高い専門性を学ぶ「スポーツ栄養関連科目」および運動指針に基づいた健康づくりや身体機能の維持増進や機能改善を学ぶ「健康運動実践指導関連科目」を履修する。
3.それ以外に、共通教養科目や入学時教育の充実を図るための「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を導入して幅広い選択科目を履修する。

アドミッション・ポリシー

健康を維持増進するためには、「栄養・運動・休養」の3つのバランスが大切な要素です。健康スポーツ栄養学科では、「子どもからアスリートまでの食育と栄養」、「健康増進や疾病予防のための運動と栄養」、「世界の食生活と栄養」などを柱に、健康に必要な適切な栄養指導と運動指導、その両方を提供できる新しいタイプの栄養士を養成するため、次のような学生を求めます。
1.子どもからアスリートまでの食育、栄養教育・指導に積極的に取り組みたい人
2.健康の維持・増進や疾病予防のための運動実技指導および栄養指導について深く学びたい人
3.国際栄養に興味・関心のある人



神戸女子大学健康福祉学部
健康スポーツ栄養学科

2018(平成30）年度入学生用
数字の①～④は履修回生